

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

社会科教育専修3回生 仲村 幸奈

1. 単元名 「奈良公園観光パンフレットをつくろう～こんなにも奈良公園っておもしろいんだ～」

2. 単元の目標

- ・奈良公園について、知りたいことを自分たちで見つけ調査することで、奈良公園の魅力を理解する。
(知識・技能)
- ・自分たちで調べたことについて、伝えたいことは何かを考えパンフレットを通して表現する。
(思考・判断・表現)
- ・調べ学習において意欲的に学習に取り組み、コミュニケーションを取りながら協力して活動を行う態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・奈良公園の魅力を見つける。 ・奈良公園には建造物や鹿、植物、観光客といった多様性に溢れていることに気づく。	・調べたことを整理して、誰かに伝えるためにまとめることができている。	・積極的に、インタビューや調査を行い、主体的に学んでいる。 ・知りたいこと調べたいことを考え、意見を述べている。

4. 単元について

○教材観

子どもたちにとって「気軽に行ける場所」になってしまっている奈良公園。しかし、奈良公園には東大寺大仏殿などと世界遺産に認定されている貴重なものもあり、全国的・世界的に見ると歴史的建造物も多く、観光客が多く訪れ注目される素晴らしい場所なのである。また、奈良公園は歴史的建造物だけでなく、天然記念物に指定されている「鹿」がたくさん生存し、観光客の楽しみにもなっている。そして、多く人が集まるということもあり、多種多様な国籍をもった人々や商売を営む人々といった「人」に溢れる空間でもある。そこで、歴史的建造物はもちろんのこと、その中にある仏像や鹿、またお土産、観光客といった様々なところにも視点を向け、より奈良公園を児童に知ってもらいたいと考えこの教材を選んだ。

○児童観

○指導観

全国的に有名な奈良公園があることが当たり前になってしまっている児童たちに、そうではなく貴重なものなのだと再認識させ、教科書や調べたら出てくる知識だけでなく、自ら調査することで気づくことを大切にできるよう指導していきたい。

また、児童がただ調べ学習を行うのではなく、知らない観光客やお店の人などに話しかけ調査するといった調査方法も取り入れることで、コミュニケーション能力の育成にもつなげたい。そこから、質問の仕方やメモの取り方といった方法も身に付けてほしい。

そして、知ったことや気づいたこと考えたことを話すだけでなく、自分の言葉で整理し文字に起こせ

る力を児童に身に付けたい。文章力が乏しい児童にとって、頭に意見があっても文字で書き表すことができないという児童も何人かいる。そのような児童が楽しく活動することで、文章でまとめるといったことに慣れていってほしい。

○ESD との関連

●ESD の視点

- ・多様性…奈良公園の調査を行い、最後に学級全体で共有することで奈良公園の多様性に気づく。
- ・連携性…様々な視点から調査を行うことで、「ヒトとモノ」の繋がりに気づく。

●ESD で育てたい資質・能力

- ・コミュニケーション力…聞き取り調査等を行って調べ学習を進めるうえで、たくさんの人と話コミュニケーション力を育てる。また、調べたことなどを整理して発表する力を育てる。

●ESD で育てたい価値観

- ・人権・文化の尊重…奈良公園の面白さに気づき、多くの人に伝えていこうという態度を養う。

●SDGs に関連する項目

【4 質の高い教育をみんなに】

【11 住み続けられるまちづくりを】

5. 学習活動の概要

全5時間

主な学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1. 奈良公園について知っていることをあげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿がたくさんいる。 ・大仏様、東大寺がある。 ・外国人が多い。 <p>2. 奈良公園調査第1弾に向かう。</p> <p>3. 奈良公園についてより知りたいテーマを各班で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光客に聞く奈良のおすすめ」 	<p>○世界遺産学習や社会見学を通して学んできたことを振り返らせる。</p> <p>○振り返りは、隣の子や周りの子とコミュニケーションを取りながら行っていいと伝える。</p> <p>○知っていたつもりだったが、知らなかったものを引き出す。フィールドワークを行っている中で、情報を提供する。(dearline、新しくオープンした店等)</p> <p>○知っていることだけでなく、もっと知りたいことや調べてみたいことを共通のテーマ「こんなにも奈良公園っておもしろいんだ」を元に考えさせる。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・「お土産ランキング」 ・「鹿の生態について」 ・「東大寺のお坊さんに聞いたここが見所」 <p>4. 考えたテーマを発表する。</p> <p>5. 誰に、どんなことを聞くのか、ワークシートを用いて考える。</p> <p>6. 奈良公園調査第2弾へ向かう。</p> <p>7. 調査した内容を元に、パンフレットの1ページを各班作成する。</p> <p>8. 完成したページを発表する。</p> <p>9. 完成したパンフレットを全校生徒に紹介する。</p> <p>10. パンフレットを配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良公園へ遠足に行く下学年 ・奈良公園にいる観光客 ・奈良公園付近に住む地域の人 	<p>○考えることが難しい班のために、いくつか例のテーマを挙げる。</p> <p>○気になったことや調べたいことはもちろんのこと、質問内容をいくつか考えさせる。</p> <p>○ほかの観光客に迷惑等をかけないように注意事項をしっかりと確認してから出発する。</p> <p>○バインダーとメモするための用紙を配布する。</p> <p>○調査したことをまず、各班で振り返り整理させる。</p> <p>○クラスで1冊のパンフレットを作成することを伝え、各班で1ページを担当させる。</p> <p>○レイアウトなどは各班自由にさせる。見本は提示する。</p> <p>○完成したパンフレットは様々な人に配布することを伝えておく。</p> <p>○完成したページを発表し、奈良公園について知らなかったことを共有する。</p> <p>○朝の会の放送や全校集会などを使って、宣伝する。</p> <p>○パンフレットを社会見学に行く学年に配ることで、自分たちが作ったもので学んでくれるということを伝える。</p> <p>○奈良公園にいる観光客や地域の人たちにも配布することで、作成時</p>	
---	--	--

11. 振り返り	<p>により知ってもらいたいという思いを引き出す。</p> <p>○パンフレットを用いて、遠足に行った学年にアンケートを取り、その内容も元に振り返りを行う。</p> <p>○「こんなにも奈良公園っておもしろいんだ」を改めて振り返る。</p>	
----------	--	--

【こだわり】

- ゲストティーチャーを呼ぶのではなく、自分たちからお話を聞きに行く。
- 自分たちが作ったものを他の人に見てもらおう。
- 世界に一つだけのパンフレットを作成する。
- 奈良公園の面白さ魅力を自分たちで見つけることで、「あって当たり前」ではなく、本当に素晴らしいものが近くにあるんだって思ってもらいたい。(地元愛)

【課題点】

- 児童一人一人の興味関心を大切にしたいが、テーマが被ってしまった時どうすればいいのか。
- パンフレットを配布したあと、作成した児童はどうするのか考えていない。

とにかく気が付いたことを列挙します。

- 学習を終えた児童のゴールの姿が見えてきません。この活動を行うことによって、児童がどのような力をつけてほしいのか、どんな思いを抱けるようになってほしいのかなど、いわゆる学習を通して身に付けてほしい資質・能力に関わる記述が乏しいのではないかと思います。
- 教科ではなく総合的な学習の時間として行うことを考えれば、児童一人一人の興味・関心を大切にしたいものです。そういう意味で、じゃんけんでグループ分けすることは必要ないと思います。
- 完成を目指すパンフレットというのは、どのようなものになるのでしょうか。仲村さんなりにイメージしているものが知りたいので、セミナーのときでいいので具体的に示してください。
- 評価規準や評価計画は、指導案には必須ですから、とにかく入れてください。というより、授業の具体的なイメージがもてないから評価について書けないのではないのでしょうか。もっと授業のイメージを具体化させてみてください。
- ESDの指導案なので、ESDの視点(見方・考え方)、育てたい資質・能力、育てたい価値観、関連するSDGsについては、とにかく入れてください。